

令和3年度八代市立有佐小学校学校関係者評価書

| 評価項目 | 評価(4点満点) | 委員の意見 |
|---------------------------|----------|---|
| 1 学校評価の実施方法や集計・分析の方法は適切か。 | 3.8 | <ul style="list-style-type: none"> ○評価項目は全て重要であると思うが、学校として重要視している項目を強調して、考察と対応策を示すとよい。 ○とても緻密に集計・分析がなされていた。委員にもアンケート調査票を事前に周知しておくと思う。 ○保護者に関しては、特に第1回目(前期)は判断する材料が少なく、評価が難しいと思った。 |
| 2 学校評価の結果についての考察は適切か。 | 4.0 | <ul style="list-style-type: none"> ○(職員の)わかりやすい授業、基礎・基本の定着の評価が低かったようだ。より一層の指導をお願いしたい。保護者の「基本的な生活習慣」の育成に問題があると思う。 |
| 3 結果を踏まえた改善方策は適切か。 | 3.4 | <ul style="list-style-type: none"> ○「基礎・基本の定着」について、不十分な部分に対する改善点を具体的に示すと学校の取組がより理解できると思う。 ○子どもが自分で課題意識をもってくれたら、なおよいと思う。 ○自ら学ぶ意欲・主体性・学びの活用等、今後一番必要な部分であると思う。ゲームに依存している部分も多く、家庭でのルール作りを提案すべきと思う。 |

| 学校教育目標、重点的に育成をめざす資質・能力、重点取組事項についての意見等 (評価結果をご覧になってのお気づきやご意見) | |
|---|--|
| <p>【学校教育目標】 心豊かで、進んで学び、ふるさとを愛するたくましい有佐っ子の育成</p> <p>【重点的に育成をめざす資質・能力】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○自ら学ぶ意欲 ○学びを活かす力 ○伝え合う力 <p>【重点取組事項】</p> <ul style="list-style-type: none"> 「仲間づくり」 「授業づくり」 「特別支援教育の充実」 「健やかな体づくり」 「安心・安全な学校づくり」 「保護者・地域との連携」 「風通しのよい職場づくり」 | <ul style="list-style-type: none"> ○有佐小の児童は、教育目標の方向に成長していると思う。校長をはじめ先生方の日々の熱意ある教育活動の賜物であると思う。安心・安全な環境のもとに児童が生活できることは素晴らしいことと思う。様々な面で多様化している社会、教育の進化が早い現場であるが、ぜひこの状況を維持してほしい。評価の二期制については、会議前に「実施に至るまでの経過」や「管内・管外の二期制実施校の状況」等を委員に知らせておいていただくとよかった。重要な内容なので、次年度の方針として明確に示した方がいい。 ○前期の評価を踏まえて、教師・児童それぞれが努力目標を定め、改善に取り組まれていることは素晴らしいと思う。家庭での児童の内面・外面の様子を保護者が的確に先生に伝えることができていると聞いて安心した。学校として「郷土を知り、愛する」活動は大変よく実施されていたと思うが、地域住民の学校への関わりや協力については、もっと努力が必要だと思う。 ○子どもたちが、健康で心豊かな学校生活を過ごせるよう願っている。 ○本年はやはりコロナウイルスの影響で、授業参観・運動会等、あまり学校活動に参加できず、先生・児童ともふれあう時間がなかった中での気づきだが、前期・後期において、先生方の評価がほとんど向上しているので、ずいぶん努力したのがうかがえる。一方、保護者においては4項目で低下がみられた。「基本的な生活習慣」と「家庭学習の充実」「主体性の確立」をまずは進めてほしい。委員として、又、祖父母として、ゲームの時間を守り、漫画本でもいいので本を読んでほしいと、読書の推進を願っている。孫が「漫画でも漢字などは覚えるよ」と言っていた。しかしながら、健康で学校に登校し、仲間をつくるのが、小学校6年間で大事なことでないかと思っている。 ○6年生の授業参観で、行事を班ごとにまとめた発表を見て、とても深く掘り下げられていて、子どもたちにとって、より記憶に残ったのではないかと感じた。通常の授業の中でも、班ごとなどのくくりで課題を深く掘り下げて、考察・発表する機会が増えれば、意欲向上につながるのではと思った。 |